

協働ニュース 第5号



受賞した取組をcheck!!



令和3年度に引き続き、今年度も市内企業や団体のSDGsに関する優れた取組を表彰する「さがみはらSDGsアワード2022」を相模原青年会議所、津久井青年会議所及び相模原市の協働で開催し、5つの団体を表彰しました。



相模原市長賞	藤野電力「防災意識の普及啓発 再生可能エネルギーと人のつながりの活性化」
優秀賞	NPO法人Class for Everyone「リユースから学びをつくる」
協働賞	フードコミュニティ「お裾分けのお手伝い 余剰食品を困った人の笑顔に変える」
審査委員特別賞	森ラボ農産物商品開発プロジェクト「野菜を労わる高校生のふりかけ」
”	Loom Sagamihara「容器を堆肥に ～限られた資源を循環し、想いの循環を～」

協働賞受賞「フードコミュニティ」にインタビュー!

フードコミュニティは平成28年に設立された任意団体で、市内企業や市民から「おすそわけ」でいただいた食品等を、子ども食堂や生活困窮者の支援団体、福祉施設等に届ける活動を行っています。集まった食材等を仕分けし、会場配布だけでなく戸別配布も行っています。会員数は15名で、幅広い年代の方が活動しています。市内企業やJA、市等の様々な相手と協働している点が評価され、協働賞を受賞しました。

今回は、副代表の風間真起子さんにお話を伺いました。



風間副代表

Q.様々な相手と一緒に活動してよかったことは?

自分達だけではできないことができるようになりました。この活動は食材等がなくては成り立ちませんので、多方面との協働が非常に重要になります。食材等を提供いただくだけでなく、配達までお手伝いしていただく企業もあり、大変ありがたいです。市との協働では、広報紙への掲載やイベントの出展も可能になりました。市や企業と協働で取り組んでいると、市民の方からの信頼も得られ、安心して利用いただけるという効果も大きいです。

団体だけではなく、協力いただいた皆様と一緒にいただいた賞なので、とても嬉しいです。

Q.協働のコツ・ポイントは?

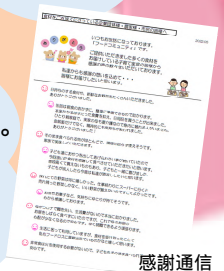
例えば食材等を提供いただいた企業や農家の方に対しては、食材等を受け取った方のメッセージを「感謝通信」としてまとめてお伝えしています。どの相手方に対しても、謙虚さを持って接することが重要ですね。

Q.市民の方へメッセージを!

私もそうだったように、「誰かの役に立ちたい!」と思っても、何をして良いかわからない方も多いと思います。ですが、ご家庭で余った食材をひとつ提供することも、誰かの大きな役に立ちます。意外と身近なことからできますのでぜひ一歩踏み出してみませんか?

食材等を提供いただける方や、一緒に活動してみたいと思った方は下記までご連絡ください!

フードコミュニティ (代表 中臺)
070-4481-4094
foodcommunity.1001@gmail.com



感謝通信





令和4年度に実施した

協働の事例紹介



「協働」と聞くと難しいイメージもあるかもしれませんが、意外と既に取り組みされている事例もあります。

今回は子どもや若者を対象とした、市民×行政の協働の事例を紹介します。

新しい事業だけではなく、既存の事業に協働のエッセンスを入れるだけで、相乗効果が期待できるかも…？

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業

さがみはら
子どもアントレ
プレナー体験
事業実行委
員会

産業支援課

(株)さがみ
はら産業
創造セン
ター

令和4年8月、小学生を対象に、初めて出会う仲間と「会社設立、事業計画書の作成、資金調達、仕入、製造、販売、決算」という起業のプロセスを疑似体験する「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」を実施しました。

事業の企画・運営は大学生や市内企業、産業支援機関等が連携して実施しています。市内で操業している経営者の方等に運営に携わっていただくことで、専門的な視点が入り入れられ、より現実的な融資交渉や材料の仕入れ、商品製造や販売価格の決定等、社会の仕組みを実際に体感できる事業となりました。



融資交渉



商品の製造



販売

第9回 More輝く～南区アイデアコンペ～

南区若者
参加プロ
ジェクト
実行委員会

南区役所
区政策課



みなクジャくん

令和4年12月、南区若者参加プロジェクト実行委員会が主催する「第9回More輝く～南区アイデアコンペ～」が開催されました。

これは、若い世代が自分たちの区のまちづくりについて考え、区内の若者と地域に関わりのある方との交流を図ることを目的としています。

今年度は、4年後に開催を目指すイベントの Mascotキャラクターのコンペを行い、「みなクジャくん」が選ばれました！

夏休み子ども消費者教室

(独)国民
生活セン
ター

消費生活
総合セン
ター

(公社)
神奈川県
計量協会



令和4年8月、公益社団法人神奈川県計量協会及び独立行政法人国民生活センターとの協働により、小学校5、6年生に向けた「夏休み子ども消費者教室」を実施しました。

棒はかりの工作や、計画的なお金の使い方を学ぶゲーム、国民生活センターの施設見学等、楽しみながら専門的な内容を学ぶことで、「自立した消費者」になるための、きっかけの場となりました。

..... 編集後記

協働ニュースの発行は年2回なのですが、今年度はこの5号が最初です・・・ということで3月には6号を発行しますので、早くもそちらにも取り掛からなくては、と焦っています。協働の取組を伝えるって難しい部分もあるんですが、記事掲載にご協力いただいた皆様には、わかりやすく簡潔にまとめていただき感謝です。ありがとうございました。